

<校訓> 高志共生	大庄中通信	大庄中学校 H27年度 第6号 (H27. 6. 18 木)
---------------------------	--------------	--------------------------------------

1週間テスト勉強に集中しよう

来週の水曜日から1学期の期末テストが始まります。

1学期の成績に大きく関係するテストです。ということは、長い目で見ると受験や進路にも関わる大切なテストです。学校での勉強は、ふだんの授業と家庭学習をまじめに取り組むことは当たり前ですが、それだけでは定期テストでよい結果は残せません。この1週間は、期末テストで結果を残すために、計画的に、集中して、時間をかけてテスト勉強に取り組んでください。

時間のある土曜・日曜とテストが午前中で終わった午後など、ふだん以上に学習に取り組める時間を有効に使ってください。「クラブが休んで時間があるから遊びに行こう～」などというのは、絶対ダメです。

また、「〇〇さんといっしょに△△で勉強してきます…」というのも、ほとんどの場合、おしゃべりの時間になってしまいますから、やめておくことです。勉強のやり方は、一人一人違いますし、覚えたり考えたりすることは、一人で集中して取り組まないと効果は上がりません。

あきらめが早い大庄中の生徒？

この4月に大庄中に異動されてきたある先生が「大庄中の生徒はあきらめが早いですね。授業でも集中力が続かない…」というお話をされていました。授業にまじめに取り組んでいないのではありませんが、わからないことやちょっとむづかしい問題、時間のかかる問題になると「俺、もうええわ…」と、いって投げ出してしまふ生徒が多いようです。あきらめが早い、粘り強さに欠ける、集中が続かない…全員がそうではありませんし、このことを証明するデータや資料もありませんが、私も同感でした。

進路を選ぶときも、同じような傾向があると感じています。3年生になってもなかなか成績が伸びない生徒がこれまででも何人もいました。原因はいろいろで、努力が足りない人もいますし、勉強の方法が間違っている事もあります。基礎のところであつまっているから、今習っていることが理解できても結果につながらない人もいます。やる気がないわけではないのですが、思うような結果が出ないことから、早々と第1志望の高校進学をあきらめたり、全日制の公立高校から定時制や通信制に志望校を変更する人もいました。誤解されると困りますが、定時制や通信制に進学することを否定しているわけではありません。定時制や通信制で勉強することが自分のライフスタイルや性格などに合っている人もいます。それはそれでOKです。しかし、本当は昼間の公立高校に行きたいのに、今の成績では無理…、そこで、必死になって勉強するか、第1志望をあきらめるか、といったところの違いです。努力す



ればできるはずなのに、あきらめて楽な方向に進もうとする…そんな人が、これまで多かったように思います。

決して、能力がないわけではありません。何かの原因があって、中学校の学習で思うような結果が残せてなかったのです。毎日の学習の積み重ねの上に、定期テストや課題テストや実力テストのときのまとめの勉強があります。授業で「わかった」と思っている、それでテストの答案用紙に正解が書けるわけではありません。そして、人間の記憶というのは、一度覚えたことでも次から次に忘れていくものです。ですから、繰り返して何度も勉強することが必要です。あきらめずに、努力を続けることです。

集中力が長続きしない人は、1時間勉強して10分休憩ではなく、30分勉強したら5分休憩を2回やれば、合計の学習時間は同じになります。自分に合った工夫をして、テスト勉強に取り組んでみてください。

公立全日制を目指すなら…

公立高校の学区が拡大されて初めての入試が3月にありました。「他市の生徒が尼崎市の高校を受けてレベルが上がったのじゃないか？むづかしくなったのじゃないか？」という話をよく耳にします。

あくまで、中学生の時の評定や実力テストの結果による集約や分析ですが、この3月の入試で、尼崎市内の高校の入試レベルが、ものすごく上がったわけではありません。確かに、最低合格点や合格者の得点分布は、どの高校も若干上がったようですが、それは他市の生徒が高い点数だったからではありません。尼崎の生徒のレベルも上がったのです。他市の中学校の上位の生徒が、尼崎にある高校を受けなかったのかな、という推測もできますが…

来年度以降も同じ傾向が続くかはわかりませんが、今回の入試だけで、おおざっぱに言いますと、公立全日制に進みたいなら、内申でオール3(500点換算で150点)、実力テストで市内平均の250点(500点換算で125点)、というところが最低の目標になるでしょう。あくまで、おおざっぱな「最低限の目標」です。「275点/500点なら100%合格」ではありません。275点/500点あっても、不合格になることもあります。逆に、200点/500点くらいの生徒が合格することも、まれにはあります。これは、2学期の時点では評定も実力テストも低かったのですが、その後ものすごく努力して、入試当日のテストがよくできた、ということだろうと思います。

高校の先生方は、高校の格付けやランキングを嫌がられます。例えば、尼崎市内にも、400点/500点でも不合格になる高校があります。高校による入試レベルの違いがあるのは否定できませんし、年度による違いもあります。また、インターネットなどにある高校の偏差値ランキングなどは、少ないデータに基づくものもありますから、う呑みすることは、お勧めできません。一般的な傾向として、偏差値という見方では、尼崎市内の高校が低く見られていることが多いようです。

いろいろなデータや資料を頭に入れた上での中学校の進路指導ですから、担任の先生とよく相談していただくことをお願いします。しかし、何より、ある程度の成績を残し、実力をつけておくことが大前提です。

実力テストで平均を目指すなら…

実力テストで5教科合計250点あたりを目指すなら、学校の定期テストや課題テストは、300点くらいはとっておいてほしいと思います。1教科平均60点です。公立を目指す人は、最低限、毎回それくらいの結果を残すことができるように、テスト勉強に取り組んでください。

(文責:校長 福井 隆夫)

